

創立120周年に向けて 花器制作 陶芸家 菊地弘氏から学ぶ



6月21日
金曜日

創立120周年へ花器制作

小瀬高 記念式典に生け花展示



記念式典で展示する花器作りに取り組む生徒＝常陸大宮市上小瀬

創立120周年を生徒の手による生け花で祝おうと、常陸大宮市上小瀬の県立小瀬高（常井安文校長、生徒127人）は17、19日、学年ごとに全員で、陶芸による花器制作に取り組ん

だ。10月15日の記念式典で花を生けて展示する。地元の陶芸家、菊地弘さん（64）が制作を指導。生徒は約2ヶ月の粘土をひも状にして、高く積み重ねる「手びねり」の技法で、思い描

いた形に挑戦。菊地さんは生徒の間を回りながら、アドバイスしたり手を貸したりした。
約90分後、生徒は筒状から大皿のような形まで、思い思いの作品に仕上げた。3年の手塚麻衣さん（17）は「作品は良い感じにできた。楽しい経験になり、伝統文化を大事にしたいと思った」と話した。
3日間指導した菊地さんは、物づくりの大切さを説明しながら「花器にどんな花を生けるのか、楽しみにしている」と話した。作品は乾燥後、菊地さんが釉薬で色付けし、焼き上げる。花器は緒川総合センターの記念式典で、花を生けて飾る。

（蛭田 稔）